

尖圭コンジローマとHPV (Genital warts & HPV)

別名：ヒトパピローマウイルス、性器 HPV

尖圭コンジローマはよく見られる STI（性感染症）であり、ヒトパピローマウイルス（Human Papilloma Virus : HPV）により引き起こされます。尖圭コンジローマはセックス中の皮膚と皮膚の接触により感染し得る感染症です。

重要ポイント

- 性器 HPV 感染者の大半は無症状ですが、その状態でもセックス中に他の人に性器 HPV をうつす可能性があります
- HPV 感染者の多くは、いぼ [warts] 症状さえもまったく発症しません
- 尖圭コンジローマは、性器 HPV に感染している人との膣性交やアナルセックス、性器の皮膚と皮膚の接触により、人から人に感染します
- 治療方法としては、処方薬のクリームやいぼ取り用の塗り薬の使用に加えて、凍結療法やレーザー療法という選択肢もあります

尖圭コンジローマ／HPV とは？ (What is this?)

尖圭コンジローマは性器部分の突起や隆起のことであり、この突起・隆起の外観や大きさ、形状、数などにはばらつきがあります。中には、カリフラワーのように見えるものもあります。

尖圭コンジローマは、ヒトパピローマウイルス (HPV) により引き起こされます。性行為をしている人の多くが、生涯のどこかの段階で HPV 感染症に接触します。HPV 感染症の大半は、治療を受けなくても消えていきます。

HPV 感染症が性器がんの原因となることがありますが、これは珍しいことであり、性器がんの原因となるのは尖圭コンジローマを引き起こすタイプとは別の HPV です。

尖圭コンジローマ／HPV にはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

尖圭コンジローマや HPV は、膣性交またはアナルセックス中の皮膚と皮膚の直接接触により、人から人に感染します。いぼ症状は、このウイルスとの接触から数週間以内に現れることもありますが、数ヶ月経ってから現れることもあります。

尖圭コンジローマ／HPV の症状 (What are the symptoms?)

感染すると、性器やその周辺部に単数または複数のいぼやしこりができたことに気付くかもしれません。いぼ症状が膣の中や子宮頸部、肛門内に発生することもあるため、感染者がいぼの存在に気付かないこともあります。

つぎのような症状に気付いたら、医師に相談してください：

- ペニスや膣、外陰部、肛門に隆起があったり、そうした部位の皮膚の様子に変化が見られる
- 通常は見られないようなかゆみや痛み、出血がある

また、性的なパートナーから HPV または尖圭コンジローマに感染していると伝えられたときも、医師に相談するようにしてください。

尖圭コンジローマ／HPV の検査方法 (How do you test for it?)

尖圭コンジローマは、医師または看護師による性器とその周辺部の目視確認により診断されます。

HPV には様々な検査方法があるので、医師に相談するのが一番良いでしょう。

尖圭コンジローマ／HPV の治療法 (How is it treated?)

医師に相談して、尖圭コンジローマの適切な治療方法を見つけてください。

妊娠している、または妊娠している可能性がある場合は、医師にそのことを伝えましょう。

治療をしても HPV を体内から一掃することはできません。治療されるのは目に見えるいぼのみです。ほとんどの感染者においては、身体の自然免疫が時間をかけてウイルスを体内から除去します。

医師による治療 (Treatment by a doctor)

- **凍結療法** - いぼを凍らせる療法
- **TCA (トリクロロ酢酸)** - いぼに塗布していぼを除去する療法
- **レーザー治療法** - レーザーによりいぼを除去するために、時としてこの療法が推奨されることがあります (全身麻酔を要します)

自分で行える治療 (Treatment you can apply yourself)

- 外性器のいぼを対象とした、ポドフィロトキシシン (Condyline™) の塗布。この治療法は妊娠中には推奨されません。また、医師からの処方せんが必要です。
- 外性器および肛門周囲のいぼを対象とした、イミキモド (Aldara™) クリームの使用。イミキモドも、妊娠中の使用は推奨されていません。また、医師からの処方せんが必要です。

どの治療法を利用する場合でも、以下の点に注意しましょう：

- 尖圭コンジローマ (性器部のいぼ) 専用でない市販治療薬は使わないでください。
- 多くの場合、治療には医師のもとへの数回の通院が必要となり、様々な治療法を試すこととなりますが、辛抱強く治療を続けてください。

副作用とその対処法 (Side-effects and treatment)

凍結療法や Condyline™、Aldara™ を使用すると、つぎのような副作用がよく見られます：

- 局所的な皮膚の炎症・かゆみ
- かいよう
- 痛みや不快感

低濃度の塩水の風呂に浸かったり、市販の鎮痛剤 (パラセタモールなど) を服用すると、これらの副作用をやわらげられるかもしれません。

こうした副作用が続いて治まらない場合は、医師に相談してください。

治療しなかった場合の合併症 (Are there any complications if not treated?)

治療をしても HPV を体内から一掃することはできません。治療されるのは目に見えるいぼのみです。ほとんどの感染者においては、身体の自然免疫が時間をかけてウイルスを体内から除去します。

治療後の再発の可能性 (Is it likely to come back after treatment?)

多くの場合、治療には医師のもとへの数回の通院が必要となり、様々な治療法を試すこととなりますが、辛抱強く治療を続けてください。

自分を守るために (How can I protect myself?)

コンドームやダム（薄いビニール状の防護シート）は予防に役立ちますが、こうした防護具は性器の皮膚をすべて覆うわけではありません。

9種類の HPV 感染（6 型、11 型、16 型、18 型、31 型、33 型、45 型、52 型、58 型）を予防する、予防接種が利用できます。尖圭コンジローマと性器がんのほとんどは、これらの型の HPV により引き起こされます。

予防接種の選択肢については、医師に確認してください。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもら
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STI に感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000 番（救急）に電話通報してください。